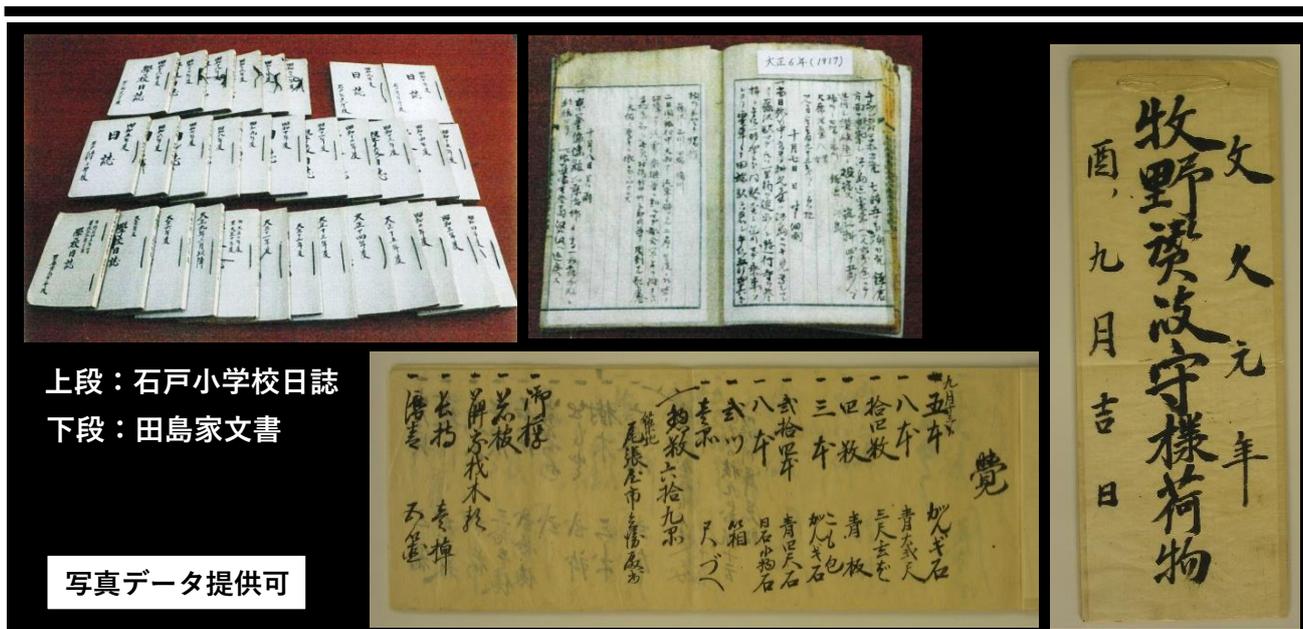




新たに2件を**市指定文化財**に 「石戸小学校日誌」「田島家文書」



上段：石戸小学校日誌

下段：田島家文書

写真データ提供可

- 北本市教育委員会は、2月18日開催の定例教育委員会において、北本市文化財保護審議会からの答申に基づき、下記2件を市の文化財として新たに指定しました。
- 今回の指定によって、北本市の文化財は、国指定2件、県指定2件、市指定53件の計57件になります。

新指定文化財

・石戸小学校日誌（歴史資料・一括指定）

同校が石戸尋常小学校だった明治45年(1912)を最古として、学校内における日々の活動記録を詳細に記載した学校日誌。当時の授業内容や学校行事等がわかる学校史、教育史としての資料のみならず、地域の公共施設として、保健医療や地域行事等への利用状況もわかり、地域史資料としても貴重です。

・田島家文書（古文書・一括指定）

田島家は、江戸幕府公認の御用河岸である高尾河岸で船問屋を営み、江戸時代後期から明治時代にかけて河岸場全体を取り仕切っていた旧家。幕末から昭和までの舟運に関する史料のほか、通信制度、商取引慣習、世相・世俗に関する事項など、幅広い文書が継続的に残されており貴重です。

担当者コメント



小学校日誌の文化財指定は全国的にも類例が少なく、近・現代の地域史を語る資料として貴重です。田島家文書は、当時石戸領を治めた牧野氏による墓地造営の詳細がわかる史料など、舟運関係をはじめとした、幕末から近代にかかる極めて広範な史料が残されている点が特徴です。

